

入 試 年度	2026 年度	入試時期	I 期入学試験	実施日	2025 年 9 月 17 日
課程	修士課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	臨床人間学専攻現 代社会学専修
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	専門科目	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【解答例（採点時の観点）】 大問 2 問を出題した。大問〔I〕の問 1 では、社会学および関連諸分野に関する用語群 5 セットから 1 つを選択し、さらに社会学および隣接分野の研究者 5 名から 1 名を選び、それらと関連するテーマを自由に設定して論述することを求めた。続く問 2 においても同様の論述を求めた。用語と人名の組み合わせには複数の可能性があり、解答例を記すと膨大な分量になるため、ここでは採点時の観点のみ述べる。評価の対象としたのは、①選んだ用語群と関連の深い研究者名を選択できていること、②各用語と人名について適切に説明できていること、③それらを結び付けたテーマを論理的な文章で表現できていることである。 大問〔II〕では、市民による環境活動に関する文献を引用した上で、以下 3 問を出題した。問 1 では、社会調査に関する基本的概念について尋ねた。問 2 では、一つの現象に対して人により異なる認識が存在することの解釈を求めた。問 3 では、社会調査における質問文の作成例について尋ねた。採点時に重視した点は、問 1 は「羅生門効果」またはそれに類する用語を答えていること、問 2 は複数の認識を過度に単純化することなく一つ一つを尊重して解釈していること、問 3 は社会調査の調査票作成において留意すべき点を理解できていることである。					
【出題の意図】 大問〔I〕では、社会学の基礎知識を有していること、および複数の用語と人名を論理的に結び付け、まとまりをもった文章で表現できることを確認しようとした。 大問〔II〕では、社会調査に関する基本的知識を有していること、および調査結果として多様な意見が得られた際に、整合性のないデータを切り捨てずに現象を理解しようとする力があることを確認しようとした。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。 合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					